

水道事業管理者からひとこと

市民の皆様には、水道事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

水道事業の使命は、お客様に安全な水を安定供給することです。水道水をお届けするためには、①水源となる水、②水を飲み水にして送るための施設、③これを動かす人、そして、④財源の4つが必要です。

水道事業は、民間企業と同様に、お客様に水を買っていただいたお金(水道料金)で経営が成り立っていますが、赤字だからといって事業をやめることはできません。

こうした水道事業の現状について、順次内容をお知らせしていきたいと思っております。

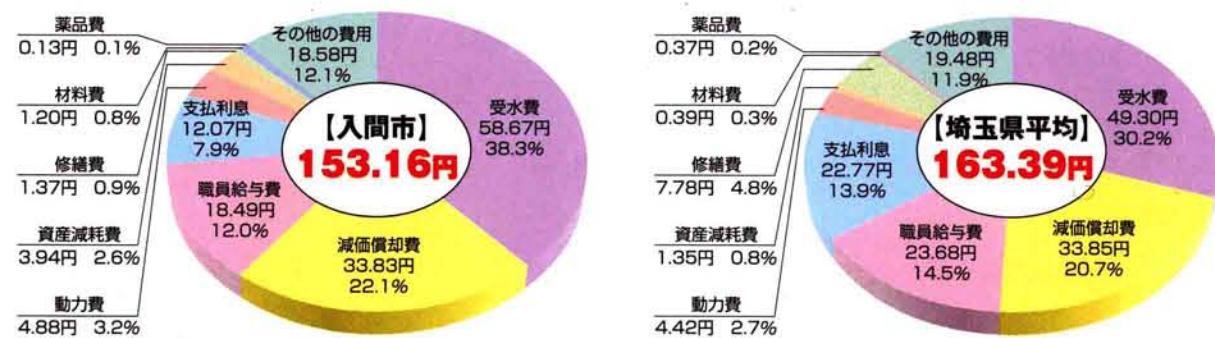
今回は、給水原価と生産性、そして水質検査の結果について取り上げてみました。

今後とも、できるだけ分かりやすくお伝えするよう努めてまいりますので、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

●水の原価について

水1m³をお届けするためにかけた費用(給水原価)を比較したものが、次の円グラフです。

平成10年度 水1m³当たりの給水原価



《特徴》

入間市の給水原価は、総体的には県平均を下回っており、好ましい状況にあるといえます。

ただ、次の点が県平均値を上回っており、入間市の特徴といえるものです。

(1)受水費が高くなっています。(受水費とは、県から買った水の代金のことをいいます。)

漏水にご注意ください!

漏水は、見た目にはわずかでも1日24時間毎日となると大変な量になり、**その料金もお客様のご負担となります**。宅地内の水道設備を管理するのはお客様ご自身です。

漏水の早期発見のため、**こまめな水道メーターの点検**を心掛けましょう。

お客様にお届けしている水は、大部分が県から買った水道水で占められています。

他の水道事業者と比べ水源が少なく、県水への依存度が高いといえます。

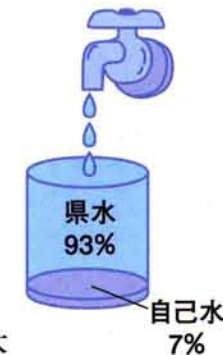
(2)減価償却費の割合が高くなっています。

水道事業を経営するためには、配水タンクや配水管、機械設備など設備投資に莫大な費用がかかります。

減価償却費は、この設備等の寿命に応じて費用とするものです。

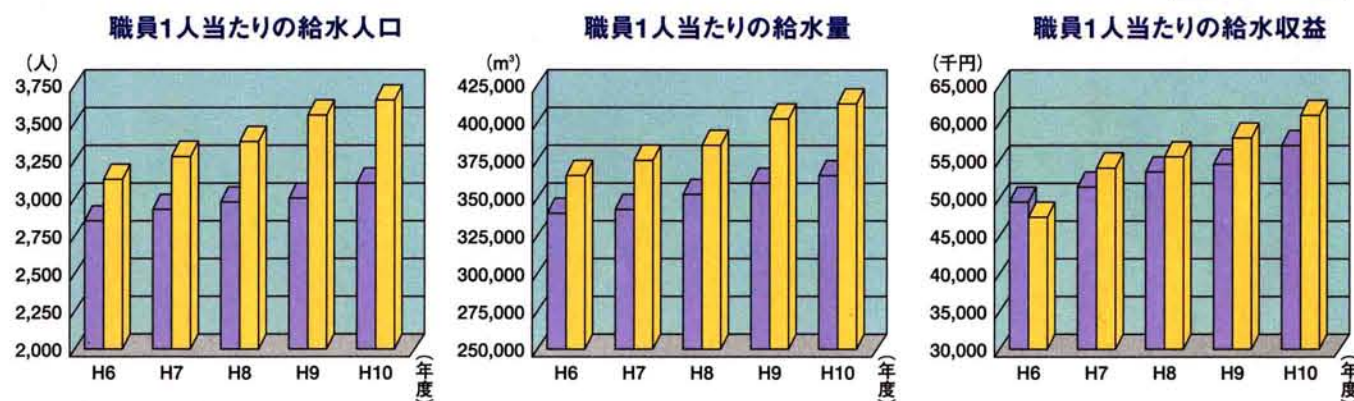
入間市は、起伏に富んだ地形のため、お客様のお宅に水を送るためには、常に機械的に水圧をかけ続けなければなりません。このため、平坦な地形の市町村に比べ、設備がより多く必要になる傾向があります。

また、入間市の水道事業が、町村合併を経て、低い地域(鍵山浄水場)から次第に高い地域へ拡大普及していったことも設備投資の増大を招く大きな要因になっています。



●職員1人当たりの生産性について

水道部では、事業の効率的な運営に努めておりますが、これを表す指標として職員1人当たりの給水人口、給水量及び給水収益をグラフ化してみました。



《特徴》

職員1人当たりの給水人口、給水量、給水収益(水道料金収入)のいずれも県平均値を上回っています。このことは、職員1人当たりの生産性がよいことを意味しています。

点検のしかた

すべての蛇口を閉めて量水器(水道メーター)の中の**コマ**が回っていないかを見ます。**コマがゆっくりでも回っていたら漏水**していますので、指定水道工事店へ修理を依頼してください。



★水質基準とは★

通常、私たちが「水質基準」と呼んでいるのは、水道法に基づき厚生省令により定められた水質基準のことです。この水道法に基づく水質基準は、「健康に関連する項目」と「水道水が有すべき性状に関連する項目」の2つの要件から成り立っています。

水道法に基づく水質基準 (46項目)

●健康に関連する項目 (29項目)

生涯にわたり連続的な摂取をしても、人の健康に影響が生じない水準をもととして、安全性を十分考慮した上で設定されています。

●水道水が有すべき性状に関連する項目 (17項目)

生活利用上あるいは水道施設の管理上障害の生ずる恐れのないように設定されています。

★水質110番あれこれ★

◆青い水がでる◆

[原因]

海や湖は、水による光の散乱と吸収により青く見えます。家庭でも、風呂などの大きな容器に水をためた場合にこれと同じ現象で青く見えることがあります。特にアイボリー系のカラー浴槽などに多い事例です。

◆白い水、白いお湯が出る(数秒放置すると消える場合)◆

[原因]

容器に水を入れた時に、下の方から透明になり白い濁りがなくなる場合、原因は空気であり安全性については心配ありません。これは、蛇口から水道水を勢いよく出すと蛇口の内部が負圧となり、蛇口の上部から空気を吸い込むため、それが細かな気泡となって白く見えることによるものです。

また、給湯用の蛇口から出るお湯にも同様の現象がみられ、空気の吸い込みの他に水の中に溶けている空気の放出が考えられます。

◆浴室のタイル、便器の内側などが桃色になる◆

[原因]

浴室のタイル、流し口、便器の内側などは水がたまりやすく、また石けんカス、湯あか、汚物などで汚れやすいため空気中の雑菌が付着し、繁殖しやすくなっています。これらの雑菌の中には繁殖に伴って桃色、黄色、橙色、など特定の色素を作るものがあるため、条件によってはこうした場所がさまざまに着色することがあります。

[対策]

まず、着色した部分を水でよく洗って下さい。熱湯もしくは市販の漂白剤で洗えば再繁殖を防ぐことができます。また、換気を良くして湿気を減らすとともに日常の手入れをこまめに行うことをお勧めします。

◆水道水の保存期間、残留塩素について◆

水道水は、病原菌に汚染されないように塩素で消毒しており、残留塩素(水道水中に残っている消毒効果のある塩素)があるうちは細菌は繁殖しません。

しかし、残留塩素はなくなりやすく、水の保存方法により減少する割合が異なります。容器が10ℓ、20ℓと大型になるほど長持ちしますが、約3日間を目安として水の交換が必要です。

また、容器は密閉できるものを選び、十分洗浄してから使用して下さい。また、暖かい場所では残留塩素が早くなくなりますので、冷暗所に保管して下さい。

なお、浄水器を通した水は残留塩素が無く雑菌による汚染を受けやすいため汲み置きは避けて下さい。

